

# 牛の呼吸器病対策を始めましょう！

10月上旬から東部家畜保健衛生所管内でRSウイルスによる呼吸器病が流行しています。

早めの予防と念入りな対策をお願いします。

ストレス

離乳、移動、群編成、寒暖の変化、密飼いにより免疫力が低下します。



ウイルスや細菌の感染

RSウイルス、牛伝染性鼻気管炎ウイルス、BVDウイルス、パストツレラ、マンヘミア、マイコプラズマなどが原因。複合感染すると重症化し、死亡することもあります。

呼吸器病

ウイルス性呼吸器病の治療法はなく、発症すると、抗生物質の投与や補液などの対症療法しかありません。

..... 予防・対策のポイント .....

## ストレスを減らす！

### ○定期的な換気

アンモニアは気道の粘膜や肺の組織を傷つけます。暖かい日中の時間帯に換気をするなど、寒暖差のストレスを軽減しつつ、保温にも努めましょう。また、すき間風があると体感温度が大きく下がるので、板やビニールシートですき間を覆いましょう。

### ○乾燥した敷料の使用

敷料が水や尿で濡れていると牛体が冷えやすくなるため、敷料を小まめに交換し、多めに敷いてあげましょう。

## 病原体を農場に入れない！ 拡げない！

### ○牛舎出入り口に踏み込み消毒槽の設置

### ○導入牛・罹患牛の隔離

### ○牛呼吸器病ワクチンの接種



ワクチン接種は感染を防ぐだけでなく、牛群内での病原体の増殖や拡散も防ぐ効果もあります。また、母牛にワクチン接種をすることで、初乳から子牛への移行抗体による免疫も得ることができます。ワクチン接種については、接種時期や回数など獣医師とよく相談してから実施してください。